

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道108号 <small>ふるかわひがし</small> 古川東バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自： <small>おおさき ふるかわつるがそね しんえみなみ</small> 宮城県大崎市古川鶴ヶ塚字新江南 至： <small>おおさき ふるかわいなぼ どううち</small> 宮城県大崎市古川稲葉字土手内	延長	5.1km		
事業概要					
一般国道108号は、宮城県石巻市から秋田県由利本荘市に至る延長約188kmの主要幹線道路である。古川東バイパスは、大崎市古川鶴ヶ塚から大崎市古川稲葉に至る延長5.1kmの4車線道路である。					
H2年度事業化		H3年度都市計画決定 (H1年度変更)		H7年度用地着手	
				H19年度工事着手	
全体事業費	340億円	事業進捗率	26%	供用済延長	2.3km
計画交通量	15,200台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.4	総費用 (残事業)/ (事業全体) 174億円/290億円 〔 事業費：165億円/274億円 維持管理費：8.9億円/16億円 〕	総便益 (残事業)/ (事業全体) 307億円/411億円 〔 走行時間短縮便益：281億円/378億円 走行経費減少便益：21億円/25億円 交通事故減少便益：6.2億円/7.6億円 〕	基準年	
	(残事業) 1.8			平成25年	
感度分析の結果					
【事業全体】 交通量：B/C=1.4~1.5(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.3~1.5(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.0~3.0(事業期間±8年)					
【残事業】 B/C=1.6~1.9(交通量 ±10%) B/C=1.6~2.0(事業費 ±10%) B/C=1.5~2.0(事業期間±3年)					
事業の効果等					
①円滑なモビリティの確保 ・現道等（大崎市古川字上古川地内（下り方向））における混雑時旅行速度が13.7km/hである区間の旅行速度の改善が期待される ・美里町から新幹線駅（古川駅 現況10分）へのアクセス向上が見込まれる					
②国土・地域ネットワークの構築 ・美里町から大崎市（現況22分）へのアクセス向上が見込まれる					
③個性ある地域の形成 ・大崎地方拠点都市地域整備アクションプログラムを支援する					
④安全で安心できるくらしの確保 ・美里町から大崎市民病院（H26年4月移転 現況28分）へのアクセス向上が見込まれる					
関係する地方公共団体等の意見					
○宮城県知事の意見 ・「対応方針（原案）」案のとおり継続で異議ありません。 ・なお、対象事業は、本県の東日本大震災からの復旧・復興を果たす上で非常に重要な路線でありますことから、コスト縮減にも十分配慮しながら、本県の重点施策である「防災道路ネットワークの構築」に向け、早期完成を図っていただきますよう、よろしくお願いいたします。					
○以下の団体等から、上北天間林道路の整備促進について要望あり ・国道108号古川東バイパス建設促進期成同盟会（大崎市長） ・大崎市（大崎市長） ・美里町（美里町長）					
事業評価監視委員会の意見 ・対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・事業進捗率26%（うち用地進捗率47%）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・事業の進捗に係る問題はない。					

施設の構造や工法の変更等

- ・他事業との発生土利用調整及び再生資材（再生砕石、再生アスファルト合材等）の活用により、コスト縮減を図る。

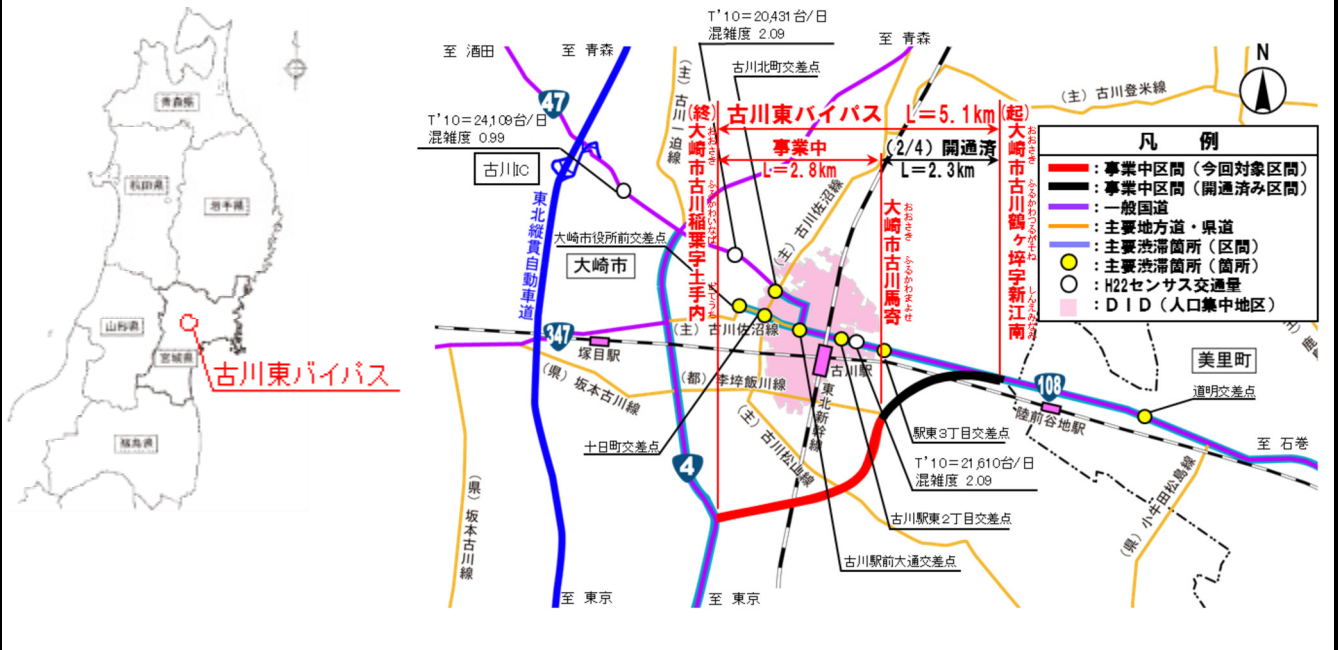
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。